

もうすぐ80歳

(特非) シビルNPO 連携プラットフォーム サポーター
NPO 法人建設技術監査センター所属
(有) ケイエムアイエスオー取締役 松井 隆



この度CNCPサポーターとして参加させていただくことになりました。私の人生を振り返ってみますと大学を卒業して55年にもなります。学生の頃は、人生とは何と長いと思っておりましたが、全く「過ぎたるは矢の如し」です。この間いろんな方々にお世話になり有意義な人生を過ごさせていただきました。平均寿命85歳ならばあと余命8年です。この年になれば余り「じたばた」せず寂静の中に身を置くとした毎日で在りたいと念じる年恰好になりました。五木寛之の著述では林住期ですね。

とは言っても、CNCPサポーターに参加して、一体何ができるのか示す必要から、最近の三つの人生スパンから習得たものを振り返ってみます。

① 一つ目は、予て望んでいた会社を創設

平成13年に(有)ケイエムアイエスオーの代表に就いての10年間は、ISOにおける組織と仕組み作りコンサルタントに専念し、組織は、トップと組織員のコミュニケーションの中から方針を定め、組織改善に徹底することです。

② 二つ目は、平成17年に千葉県技術士会への活動に参加

技術士会の組織は、幅広い技術を通して社会貢献に尽くし、産学官のすき間産業的存在で成果を求められ、貢献できたことです。

③ 三つ目は、NPO 建設技術監査センターの活動に参加

平成19年創設時から地方自治体の工事監査を経験する中で行政が工事を如何に適切に効率よく実施するかについて改善提案を積極的に行ったことです。

建設コンサルタントを35年間勤務し退いたのが61歳の時で、それ以降前述した三つの人生スパンの17年間の成果です。

今日の社会情勢は、少子高齢化社会が急激に進み、社会全体が委縮した状況にあり、何か元気がないように感じます。将来を背負っていくべき若者に在っても、非正規労働者など社会の仕組みの問題から就職しても定着できない、さらには凶悪犯罪が増えている状況に対して、地域の課題解消などに向けた何か貢献ができれば、充実した余生が送れると考える昨今です。

そして、これまで25年程続けてきた座禅の無の境地の中でこれら諸行を考えたいものです。道元さんの言葉『修証は一等なり』『修業と悟りは一つなり』において日々精進したいものです。